

『高知大学留学生教育』第17号の刊行に寄せて

高知大学グローバル教育支援センター
センター長 今井典子

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されたこともあり、本年度を振り返ると本格的に海外協定校からの受入れ、そして海外協定校への留学がコロナ禍前に戻りつつあった年と言えます。留学生受け入れに関するイベントとして、2023年9月28日（木）には、2学期から高知大学での学びを始める25名の留学生を歓迎する交流イベントを開催しました。本学学生が主体となってイベントを企画・運営し、よさこい体験、書道や茶道、けん玉などの日本文化体験の活動を通して交流を深めることができ大盛況でした。10月からの新学期を少しでも安心して楽しく過ごしてほしいという学生や教職員の思いから実現されたイベントでした。今後も、グローバル教育支援センターは、対面での学生間交流が活発になるように、このようなイベントを企画し提供したいと考えています。

高知大学で学んでいる正規学生及び海外協定校からの交換留学生たちには、授業だけに留まらず、多種多様な体験を通じて学んでほしいと願っています。異なる文化の中で日常生活を営み学ぶ経験は、言語能力の向上だけでなく、異文化間コミュニケーション能力（適応能力）の発展を促します。自己の「常識」が他文化では通用しない状況に遭遇することもあるでしょう。そうした時こそ、個人の価値観を見直す機会となります。異なる視点を持つことで、思考の柔軟性が養われ、新たな発見に繋がるはずです。是非、高知での留学経験、生活を通して、自らの文化（価値観）と向き合い、異なる環境や価値観に対応する力を育ててほしいと思います。こうした異文化対応力は将来のキャリアにおいても大いに役立ち、多様なバックグラウンドを持つ人々との協働を支える基盤となります。さらに、留学生自身にとっては、自国の長所と課題を再認識する貴重な機会となります。留学生生活をフルに活用して、学内外での交流にも積極的に参加し、地域社会との繋がりを深めることができるように取り組んでほしいものです。

上述したことは、海外協定校に留学する高知大生も同様です。高知大学には、29の国と地域、96の大学や研究所と国際交流協定を結んでおり、そのう

ち71の大学と学生交流に関する覚書を結んでいます（2023年5月1日現在）。もちろん、これらの数は変化していますが、海外の協定校先は数多くありますので、希望する留学先の大学は必ず見つかると思います。グローバル教育支援センターが提供する留学相談を積極的に活用して、留学希望学生には留学の実現に向けて頑張ってもらいたいものです。